



# 交通事故分析 インフォメーション



## 高齢者の歩行者・自転車事故について

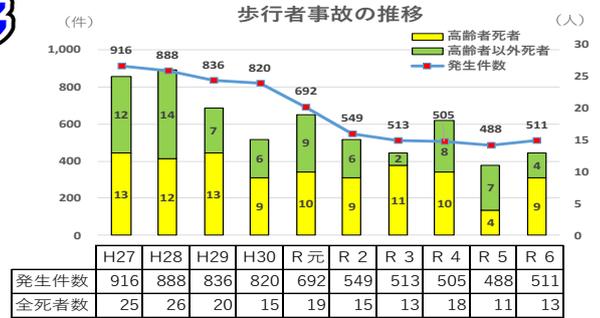
※過去5年(R2年~R6年)の人身事故データをもとに分析

令和6年中に交通事故で死亡した高齢者(年齢が65歳以上)は26人で、令和5年中と比較して7名増加し、特に歩行者と自転車乗車中の高齢者の死者が増加しました。高齢者以外の事故と比べて、どのような特徴があるのでしょうか。

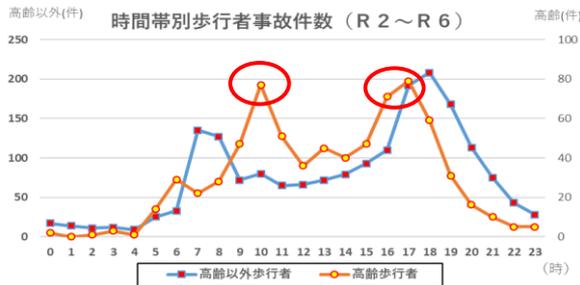
### 過去10年間の歩行者事故の推移

歩行者事故の発生件数は、概ね右肩下がりです。死者数は増減を繰り返しながら減少しており、令和6年は平成27年のおよそ半数でした。

一方で、高齢者の死者は令和5年を除いて**毎年10人前後で推移**しており、減少に至っていません。



### 時間帯別歩行者事故発生状況

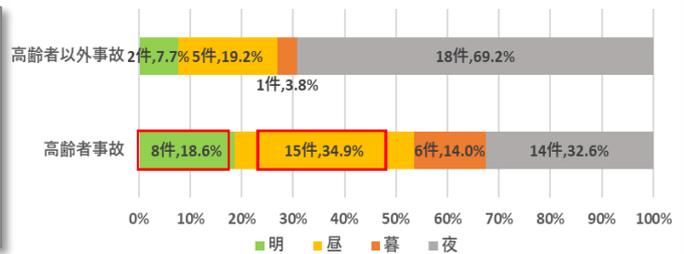


高齢者歩行者事故は**10時台にピーク**を迎え、その後一旦減少しますが、また**16時から17時台の発生件数が増加**しています。

### 昼夜別歩行者死亡事故発生状況

歩行者死亡事故の昼夜別発生状況を調査すると、高齢者は**明け方と昼**に死亡事故が発生する割合が、高齢者以外と比較して高くなっています。(明:日の出時間の前後1時間、暮:日の入り時間の前後1時間)

歩行者事故の昼夜別死亡事故発生件数 (R2~R6)

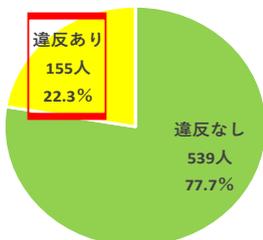


### 違反別歩行者事故発生状況

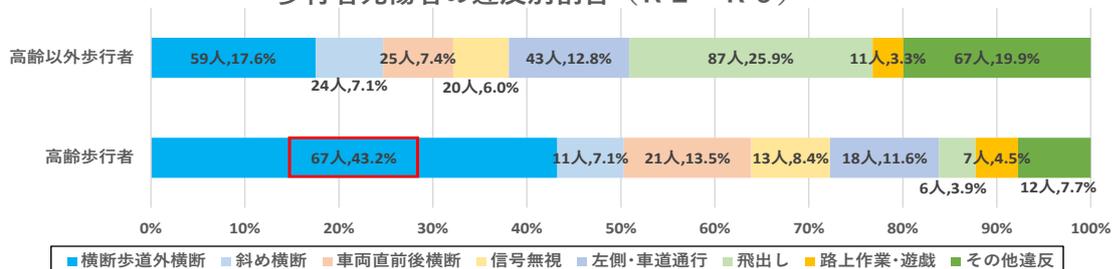
人身事故に遭った高齢者の歩行者のうち、**約2割の高齢者に何らかの違反**がありました。最も多かったのが**横断歩道外横断**で、**全体の43.2%**を占めており、斜め横断、車両直前後横断と合わせると**63.8%**となり、**6割以上に道路横断時の違反**がありました。



高齢歩行者違反の有無

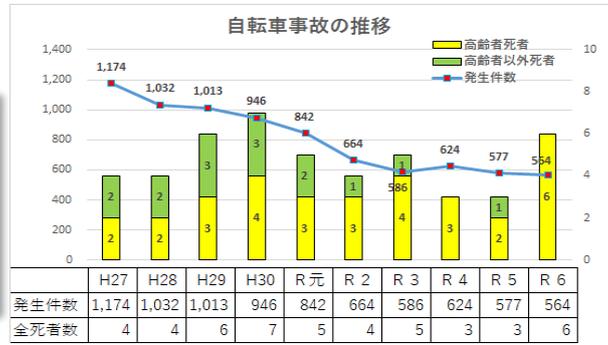


歩行者死傷者の違反別割合 (R2~R6)

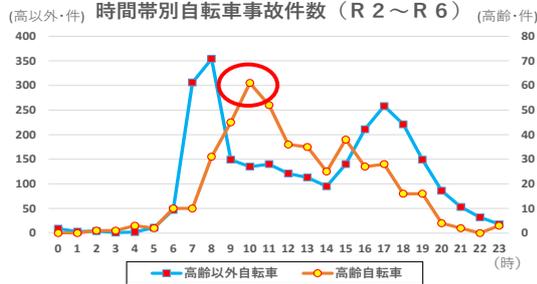


# 過去10年間の自転車事故の推移

自転車事故の発生件数は、概ね右肩下がりです。死者数は下げ止まりの状態です。令和6年は前年より3人増加しました。高齢者の死者は、毎年全体の半分以上を占めており、令和4年と6年は全員高齢者でした。



# 時間帯別自転車事故発生状況



高齢者自転車事故は10時台にピークを迎え、12時から17時台は横ばい、それ以降降時間を追うごとに減少しています。通行目的は買物が最も多くなっています。

# 違反別自転車事故発生状況

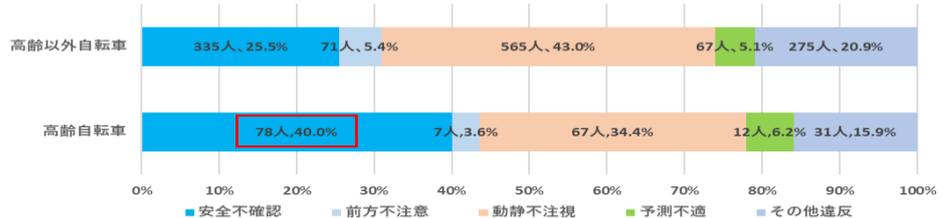
人身事故に遭った自転車乗車中の高齢者のうち、約4割に何らかの違反がありました。最も多かったのが安全不確認で、全体の40.0%を占めており、高齢者以外の自転車乗用者と比較すると14.5ポイント高くなっています。



高齢自転車事故違反の有無



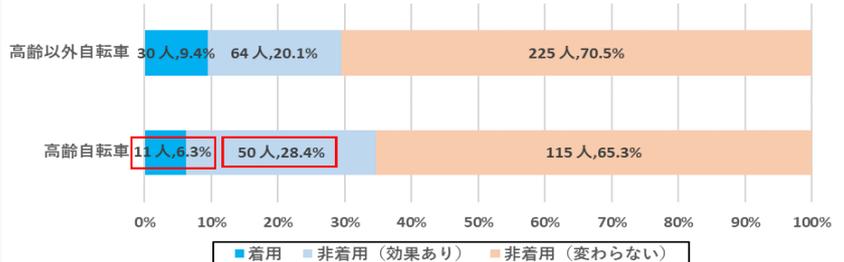
自転車事故死傷者の違反別構成率 (R2~R6)



# 自転車事故当事者のヘルメット着用状況

高齢者の自転車乗用者におけるヘルメット着用率は6.3%で、高齢者以外と比較して3.1ポイント低くなっています。また、ヘルメットを着用していれば、怪我の程度が軽減されたと思われる事故が全体の約3割ありました。

自転車ヘルメットの着用状況 (R2~R6)



# 高齢者もドライバーも交通事故に注意しましょう

高齢者は、加齢による身体能力の低下により、とっさに止まったり、避けたりする動作が困難になることを自覚し、徒歩や自転車外出する時は十分に安全確認を行い、無理な道路横断等は控えましょう。また、自転車に乗るときは、万が一の事故に備えてヘルメットを着用しましょう。

車を運転するドライバーも、走行中に高齢者を見かけたら、その動向に十分注意し、近くを通行する場合はゆっくり走行するなど、高齢者にぶつからないように気をつけましょう。